

紅葉シーズン到来！

室内から見る紅葉特集



清瀧寺徳源院（米原市）・旧竹林院（大津市）・興聖寺（高島市）

いよいよ紅葉シーズンに入りました。滋賀県内には紅葉を楽しむスポットがたくさんありますが、今回は、室内からじっくり絶景と向きあえる場所をご紹介します。ぜひカメラを持ってお出かけ下さい！きっとお気に入りの一枚が撮影できますよ☆

せいりゅうじとくげんいん

◆落ち葉の絨毯が美しい「清瀧寺徳源院」（米原市）

2016年H.I.S.が行ったタイ人旅行者の「行ってみたい！日本の秋の絶景ランキング」投票で1位に！



弘安9年（1286）建立。北近江を支配した京極家の菩提寺で、裏山を取り込んだ池泉回遊式庭園にはモミジが美しく紅葉します。11月中旬には苔の上にはらはらと落ちる葉が一面に赤い絨毯となり、息をのむほどの美しさです。

国の史跡に指定されている墓所には京極家一族の墓があります。また、閑静なたたずまいを見せる広い境内には朱塗りの三重塔があり、県の指定文化財になっています。背景の紅葉と重なる風景は絵葉書のようです。



住所：米原市清滝288 アクセス：「北陸道米原インターチェンジ」から約15分
拝観料：500円 ※庭園拝観は要予約 問合せ先：徳源院 ☎0749-57-0047

きゅうちくりんいん

◆比叡山延暦寺の里坊 「旧竹林院」 (大津市)

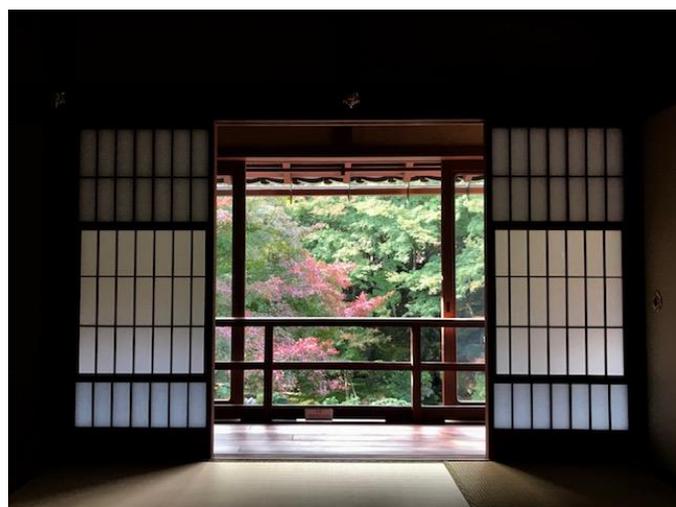
SNSで話題沸騰！庭園の反射風景を撮影できるスポット



大津市坂本の重要伝統的建造物群保存地区にある、比叡山延暦寺里坊の一つ。境内の南西に広がる回遊式庭園は、国指定名勝庭園で面積がおよそ3,300㎡あり、里坊庭園の中で最大です。大宮川を引き込んで曲水とし、八王子山を借景とするなど地形をたくみに利用し、四季折々の風情をかもし出しています。

最近、SNSへの投稿でリフレクションを表現した写真が撮れるスポットとして話題になり、多くのカメラマンが訪れています。

11月に入ると、上の方から徐々に色づき始める木々のグラデーションが美しく、川の流れる音を聞きながら、心地よいひと時を過ごすことができます。



住所：大津市坂本5丁目2-13

アクセス：JR湖西線「比叡山坂本」から徒歩約20分または、京阪石坂線「坂本比叡山口」から徒歩約10分

料金：大人320円、小学生160円 時間：9:00～17:00（受付16:30まで）

定休日：月曜日（祝日の場合は開園、翌日定休）、祝祭日の翌日、年末（12/26～12/31）

問合せ先：旧竹林院 ☎077-578-0955

こうしょうじ

◆朽木の名刹 「興聖寺」 (高島市)



高島市を流れる安曇川の上流にあり、寛元元年（1243）に宋から帰国した曹洞宗の開祖、道元禅師が朽木の里を訪れた時、この辺りの風光明媚な様子が宇治の興聖寺に似ていると感激し、領主の朽木氏に、この地に寺の創建を勧めたのがはじまりといわれています。

林のように木々が茂っている中に寺が立っており、境内からは安曇川や上山などの広大で雄大な景色が眺められます。木造の本釈迦如来坐像は、伝教大師の遺作と称される平安時代の名作であり、檜の寄木造りで、その優美さと尊厳さをそなえた仏像は国の重要文化財に指定されています。

国の名勝に指定されている美しい庭園、足利庭園は、安曇川の清流と比良山系を借景として、石を組んだ鶴島、亀島、そして中央に石橋を配しており、石一枚の橋が全体を引き締めた名庭と評されています。



住所：高島市朽木岩瀬374

アクセス：JR湖西線「安曇川」駅から江若バス岩瀬下車、徒歩約3分

または、名神高速道路京都東IC～湖西道路真野IC～国道477号線～国道367号線を通り約90分)

拝観料：300円 時間：9：00～17：00

問合せ先：興聖寺 ☎0740-38-2103

■観光キャンペーン開催中！ぜひお越しください！

滋賀県では、12月24日（月・祝）まで、「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」と題した観光キャンペーンを開催中です。

滋賀県全域を会場とする観光キャンペーンで、320を超える地域観光プログラムの展開や、話題性のあるイベントの開催などを通じて、滋賀県の7色の魅了（歴・食・遊・癒・観・買・美）に出会うことができます。

「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」特設サイト

<https://www.biwako-visitors.jp/niji-shiga/>



虹色の旅へ。
滋賀・びわ湖